

事業の目的

○各種別協議会等と連携し、所属施設の若手職員の協力のもと、福祉施設における近い将来の福祉人材を確保。

事業の主な特徴と内容

○老人福祉施設協議会や知的障害者支援協会、児童福祉協議会などの各種別協議会の協力のもと、以下の事業を実施。

- 中学校・高等学校訪問説明会
- SNS福祉の仕事魅力発信

以下の職員が担っている。

- ・学校近隣の施設職員（学校訪問）
- ・生徒に年齢の近い若手職員（学校訪問・魅力発信）



事業の実施による主な成果、効果

○自分の年齢に近い人が、身近な場所で活躍している姿を知ることによって、親近感を得られ、将来、福祉の仕事に就きたい意欲が高まる。

岐阜県福祉人材総合支援センターでは福祉の仕事経験豊富なキャリア支援専門員等が、さまざまな機関と連携し、丁寧な対応を心掛け、一人ひとり親身に求職・求人の相談に応じることで、マッチングにつなげます。